

# 福岡翔学館だより

2015.12.24 発行

## 行事予定

12月25日(金) クリスマス会&望年会  
12月28日(月) 第三回 レポート締切  
12/29~1/4 年末年始休業

1月5日(火) 三社参り  
20日(水) ~22日(金) 後期試験(卒業生)  
29日(金) 総合レポート締切(1・2年生)

## ※※レポート締切のお知らせ※※

今年も残りわずかになりましたね。残りの後期レポートも年内に全て提出しましょう♪

卒業予定の人は、特に要注意です。

第3回レポート締切は、12月28日(月)  
各レポート⑤・⑥回と未提出レポート分全て  
(3年生は総合的学習レポートも)です。

期限までに提出できるよう、計画的にレポートに取り組ま  
しょう♪

☆☆合格おめでとう☆☆

T.K くん

福岡工業大学 社会環境学部

後期試験について(卒業見込み生対象)

日時: 1月20日(月)・21日(火)・22日(水)  
受験科目別時間割などは個別に配布します。

1月12日(火)以降に試験範囲プリントを取りに  
登校して下さい。

※卒業見込み生対象試験は、12月28日までに全  
レポートを提出している人が対象となります。上記  
以外の場合は、1・2年生と同じ2月8日(月)  
~10日(水)の受験となります。

体育校外活動のお知らせ

日時: 2016年1月5日(火) 10時~15時

集合場所: 福岡翔学館

コース: 三社参り

管崎宮→十日えびす神社→櫛田神社

注意: 長距離を歩くので、歩きやすい服装・靴で参  
加して下さい!!

※今年度最後の校外活動になりますので、ぜひ!!参  
加してください^^



先日は12月スクーリングに参加された皆さまお疲れさまでした。今年は夏に大濠公園までウォーキングをしたり、今回は調理実習もありましたが、普段なかなか顔を合わせる機会の少ないメンバーにも関わらず協力しあって料理を作る事ができ、ひとり1人の個性や良さを再発見することもでき、とても有意義な時間でした。

2015年はどのような1年だったでしょうか?翔学館としても今年は例年よりも一歩踏み込んで生徒・保護者・家族の方々とより関わりを深める事ができた1年になったように思います。1年を振り返り来る年がより良い年になりますように... 本年もたくさんの御縁を頂きました事に感謝しています。ありがとうございました。

元・福岡女学院大学教授で豊富な教育経験を持つ牛島達郎先生が、多くの悩みを抱える子ども達や保護者の方々と接するなかで、翔学館の生徒・保護者の為にシリーズでメッセージを書いて下さいます。不登校・子育てなど様々な悩みを持つ方の参考になれば幸いです。

牛島先生は、翔学館でも生徒・保護者の方とのご相談を受けておりますので、相談希望の方は気軽にご連絡ください。



## 不登校に思う（その1）

私は、長い間、学校教育に携わる中で、多くの不登校の子供や若者と出会いました。そして、相談に応じてきました。その間に元気に登校するようになった人もいれば、私の力不足で、どうしても解決できないで、現在も他の人とのかかわりを拒否している人もいます。

私達大人は、子どものこのような行動(状態)を見聞するとすぐ「不登校は悪い」「不登校も仕方がない」などという価値観で見がちになります。

自分は親として、良かれかしと思い、一生懸命に育ててきたのに「どうしてこのようになったのでしょうか」「どうして私の気持ちがわからないのでしょうか」「私はどのように接したらいいのでしょうか」というような言葉を多くの親から聞きました。

その間に私は、子どもや若者、親と接する中で「子どもも大人も本来は誰一人として悪い人はいません」という考え方もつようになってきました。ただ、その人間関係(親子・夫婦・家庭内・友人など)が、その人を変えただけではないかと思えるようになりました。

子ども達と接する中で子ども達が発した言葉のいくつか書いてみたいと思います。

- ・ 私の言葉や行動に、そっと耳をかたむけてほしかった。 待つてほしかった。
- ・ 親に信頼されないで育った私が、どうして他人を信頼できるの？ できませんよ。
- ・ 親なら、私の苦しい気持ちをわかってほしかった。 そして私を認めてほしかった。 いつも文句を言われた。 づらかった。
- ・ 私の現在の行動は親から見れば、良くないと思うが、どうして私がこのような行動をとるのか、苦しい気持ちをわかってほしかった。 そして、私を認めてほしかった。 何と文句が多かったことか、家に居るのがづらかった。

このような子ども達の声を聞くと心が痛みます。そして十分な手助けができない自分に腹がたちます。しかし翔学館では、川原先生が一生懸命に子ども達とかかわっています。私もできるだけ応援をしたいと思います。

何かご意見があれば、翔学館にご相談ください。

牛島 達郎

